

平成26年度木材利用優良施設の表彰式

平成26年7月30日

主催：木材利用推進中央協議会

後援：農林水産省

- 1 審査講評 審査委員長
- 2 賞状授与 ①農林水産大臣賞
②林野庁長官賞
③木材利用推進中央協議会会長賞
- 3 挨拶 林野庁長官
受賞者代表
- 4 受賞施設 農林水産大臣賞 新城市立黄柳川小学校（愛知県）

林野庁長官賞 ①当麻町公民館「まとまーる」（北海道） ②秋田駅西口バスターミナル（秋田県）
③コンベンションぬまづ（静岡県）

木材利用推進中央協議会会長賞
①様似町立様似小学校（北海道） ②岩沼市東児童館（宮城県）
③かがわ物産館「栗林庵」（香川県） ④西条市役所市庁舎新館（愛媛県）
⑤あゆみの森幼稚園（鹿児島県）

平成26年度木材利用優良施設受賞施設の概要

賞 区 分	施設名及び施主、設計者、施工者	施 設 の 概 要
<p>農林水産大臣賞 (1点)</p>	<p>新城市立黄柳川小学校 (愛知県)</p> <p>施主:新城市 設計者:(株)東畑建築事務所名古屋事務所 施工者:校舎棟 三河建設工業(株) 屋内運動場棟 松井建拓(株)</p> <p>校舎棟:木造一部RC造 2階建て 屋内運動場棟:RC造一部木造平屋建て (延べ床面積 3,141.64㎡)</p> <p>主要樹種 スギ、ヒノキ</p>	<p>施設は、周辺の山並みや家並みに合わせた切妻屋根とし、地域材を使った下見張りの木壁が地域に馴染むように工夫されている。木を表しに配した内部空間は、まるで森の中にいるような広がりや優しさが感じられる雰囲気となっている。</p> <p>1階には管理諸室、低学年ユニット等を配置し、アリーナ・多目的ホール・特別教室の一部の地域開放ゾーンとは明確に区分されるよう配慮されている。</p> <p>アリーナ及び多目的ホールはRC造の下部構造に木造の屋根架構をかけたハイブリット構造として高い耐震性が確保されている。</p> <p>正門はスクールの待ち合い・地域の休憩スポットとなっており、子どもたちの登校を優しく迎え入れるものとなっている。</p> <p>円形でシンボリックな多目的ホールは、小ぶりな木部材が互いを支えあい大きな空間を形作り木々に包まれた暖かい空間表現がなされている。</p> <p>各棟を繋ぐ屋外渡り廊下は日光浴や写生に使われる半屋外空間であり、地域解放時には利用者のアプローチ空間となっている。</p>
<p>林野庁長官賞 (3点)</p>	<p>当麻町公民館「まとまーる」 (北海道)</p> <p>施主:当麻町 設計者:(株)山下設計北海道支社 施工者:盛永・畠山・石川JV</p> <p>公民館部分:木造平屋建て ホール部分:RC造2階建て (延べ床面積 1,434.43㎡)</p> <p>主要樹種 カラマツ、トドマツ</p>	<p>施設は、公民館部分は木造平屋建て、ホール部分はRC造2階建ての構造となっている。</p> <p>公民館は、当麻町開拓120周年を迎えることを期に計画されたものである。建物には、町内で伐採された木材を構造材・内装材に使用し、利用者が地域材を直接見て、触れて、木の良さを感じられる施設となっている。</p> <p>また、家具は町有林で伐採された樹齢150年以上のミズナラを旭川の家具メーカーに制作依頼したオンリーワン家具となっている。</p> <p>愛称の「まとまーる」は当麻町の中学生から募集し、「町民みんなが力をあわせまとまって」さらに発展するようことの願いが込められている。</p>
<p>林野庁長官賞</p>	<p>秋田駅西口バスターミナル (秋田県)</p> <p>施主:秋田中央交通(株) 設計者:小野寺康都市設計事務所・間建築研究所JV 施工者:中田建設(株)</p> <p>木造 (延べ床面積 277.83㎡) 主要樹種 スギ</p>	<p>秋田杉をふんだんに使った機能的で美観も兼ね備え県都秋田市の玄関口にふさわしいバスターミナルとして、県内外にPRし県産材の更なる普及と秋田駅前のにぎわいが創出できるよう工夫して作成されている。</p> <p>乗車側の背面は風雪対策として格子及びガラスで塞ぎ、一部の格子は変化を付けるため曲線としている。</p> <p>また、秋田の祭り、かまくら・秋田竿灯等を表した組子細工を壁面に設置し、ベンチは秋田杉の無垢材を用いて秋田をPRするものとなっている。</p> <p>街灯については、中心部は鋼管であるが、鋼管の外周を秋田杉で被覆して、バスターミナルと一体となって木の良さが表現されている。</p>

賞 区 分	施設名及び施主、設計者、施工者	施 設 の 概 要
林野庁長官賞	<p>コンベンションぬまづ (静岡県)</p> <p>施主:静岡県 設計者:長谷川逸子・建築計画工房(株) 施工者:大和ハウス工業(株)沼津支店</p> <p>S造5階建て内外装木質化等 (延べ床面積 4,213.00㎡)</p> <p>主要樹種 スギ、ヒノキ</p>	<p>施設は、今年7月にグランドオープンを迎えたコンベンション施設「ふじのくに千本松フォーラム(愛称:プラザヴェルデ)の会議場施設であり、R造地上5階建て、沼津市の景勝地「千本松原」をイメージし、県産材の活用や、屋上庭園、壁面の緑化、県産花卉を使用した花壇の設置など、景観・環境への配慮がなされている。</p> <p>最大1,100人を収容可能なコンベンションホールをはじめ、会議はもちろん音響にも配慮した400人収容のコンベンションホールなど、施設の内装仕上げに、県産のスギ材を積極的に活用するとともに、エントランスや各階のロビー等には、県産材のスギ丸太433本を列柱状に配置するなど施設の木質化を図っている。</p> <p>用いられた木材は約163㎡に及んでいる。</p>
木材利用推進中央協議会 会長賞(5点)	<p>様似町立様似小学校 (北海道)</p> <p>施主:様似町 設計者:(株)ドーコン 施工者:池田・南JV</p> <p>RC造一部2階建て 内装木質化 (延べ床面積 5,131.00㎡)</p> <p>主要樹種 トドマツ、ナラ</p>	<p>校舎及び屋内体育館の全面改築に当たっては、環境問題や豊かな自然を維持するためには森林の果たす役割が大切だということを学ばせることを目的に、道産材をふんだんに使用した「木の温もり」を実感できる内装仕上げとなっている。</p> <p>特に、天井や児童が直接手で触れられる腰壁には、町有林から切り出したトドマツを使用することで、木材利用を通じて自然環境に対する考え方や取組について、児童が日々の学校生活を通して学習できるような空間を提供している。</p>
木材利用推進中央協議会 会長賞	<p>岩沼市東児童館 (宮城県)</p> <p>施主:岩沼市 設計者:(有)スタジオ・オクアキ 施工者:(株)八重樫工務店</p> <p>木造平屋建 主要樹種 スギ、ヒノキ (延べ床面積 446.00㎡)</p>	<p>東日本大震災により被災した東児童館の再建に当たっては、直接丸太のぬくもりに触れ合える図書室、太陽の光と木の温かさに触れ合いながらリラックスできる中庭やテラス、広い遊戯室や授乳室・乳児室など、子ども連れの親子が安心して利用でき、県産木材をふんだんに使用した温もり溢れる木造平屋建ての施設となっている。</p> <p>復興需要により県産木材の確保が難しくなってきている中で、使用木材の80%以上を県産材で、かつ、60%以上の木材は優良品やぎ材で対応している。</p>

賞 区 分	施設名及び施主、設計者、施工者	施 設 の 概 要
木材利用推進中央協議会 会長賞	<p>かがわ物産館「栗林庵」 (香川県)</p> <p>施主:香川県 設計者:基本設計:(有)エノキ建築事務所 実施設計:(有)零建築設計事務所 施工者:(株)香西工務店 木造平屋建て (延べ床面積 406.00㎡)</p> <p>主要樹種 ヒノキ、スギ</p>	<p>幅広い県産品の情報発信拠点・アンテナショップとして、国の特別名勝「栗林公園」の東門横に平成25年に建設された施設である。 木造在来軸組み工法に漆喰塗の真壁及び瓦葺と伝統的な工法を採用し、特別名勝「栗林公園」にふさわしい建物となっている。 柱等の構造材及び格子天井や腰壁等の造作材は、香川県産のヒノキ、スギを使用しており、また、店舗部分は小屋組みを見せる形とし外部に面する開口部を大きくとることにより木質感・開放感を高めた建物となっている。</p>
木材利用推進中央協議会 会長賞	<p>西条市役所市庁舎新館 (愛媛県)</p> <p>施主:西条市 設計者:(株)安井建築設計事務所 施工者:西松・白石・弓山JV</p> <p>S造 7階建て内装木質化 (延べ床面積 9,448.74㎡)</p> <p>主要樹種 スギ、ヒノキ、ケヤキ</p>	<p>庁舎は、S造7階建てであるが、内装や外装に県産木材を100%使用して、温かみのある雰囲気ですべての市民が快適に利用できるよう工夫がなされている。 木材の使用量は、内装・外装合わせて267㎡であるが、それ以外にもカウンター、椅子、ソファ、テレビ台等の家具類も多く県産木材が使用されている。 木材の使用以外にも外壁やベランダに太陽光発電パネルが設置されており、また、空調の熱源に豊富にある地下水を利用し、自然通風を確保するなど自然環境を活かした庁舎となっている。</p>
木材利用推進中央協議会 会長賞	<p>あゆみの森幼稚園 (鹿児島県)</p> <p>施主:学校法人光の子ども自然学園 設計者:(株)象設計集団 施工者:久保田工務店(有)</p> <p>木造平屋建て 2棟 (延べ床面積 245.44㎡)</p> <p>主要樹種 スギ</p>	<p>あゆみの森幼稚園は、保育活動として子どもたちと一緒に森の活動、木の命の大切さを理解するために、屋久島の森の木が新たな園舎として生まれ変わる過程が共有できる園舎づくりを目指して建設された。 屋久島の森が育んだスギだけを使い、建物のほとんどを地元工務店の大工の手によって作る木造在来工法がとられている。 低い軒、縁側、しっかりとした八角柱、大きな開口部によって風が通り、冬暖かく、四季を通じて子どもたちが快適に健やかに過ごせう園舎となっている。 50～60年生のスギから製材した梁材による合掌架橋、スギ厚板の落とし込み床、壁によってスギの強さ、美しさが感じられる園舎となっている。</p>

木材利用優良施設 受賞施設の概要

平成26年 7月30日

木材利用推進中央協議会

農林水産大臣賞



新城市立黄柳川小学校

(愛知県)

施主 新城市
設計者 (株)東畑建築事務所名古屋事務所
施工者 校舎棟:三河建設工業(株)
屋内運動場棟:松井建拓(株)



林野庁長官賞



当麻町公民館「まとまーる」 (北海道)

施主 当麻町
設計者 (株)山下設計北海道支社
施工者 盛永・畠山・石川JV

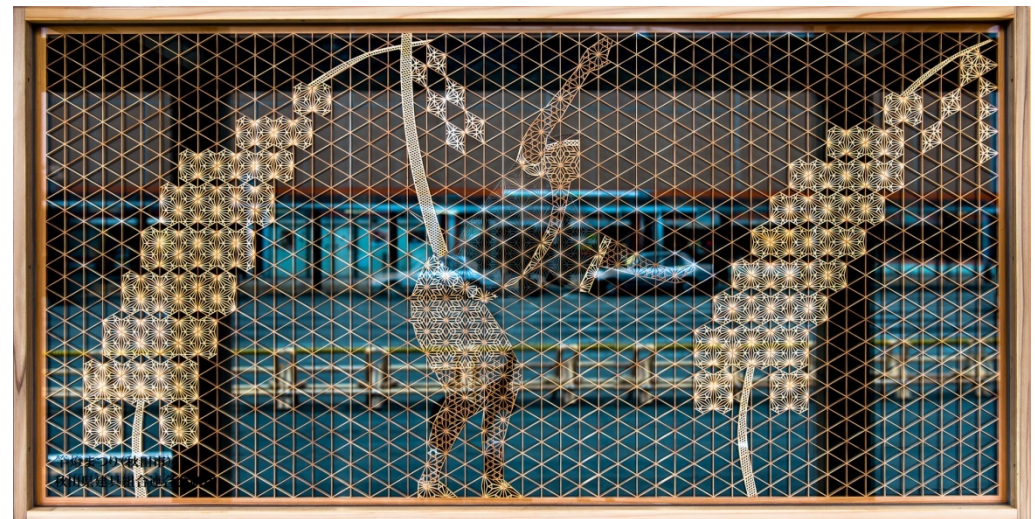


林野庁長官賞



秋田駅西口バスターミナル (秋田県)

施主 秋田中央交通(株)
設計者 小野寺康都市設計事務所・
間建築研究所JV
施工者 中田建設(株)



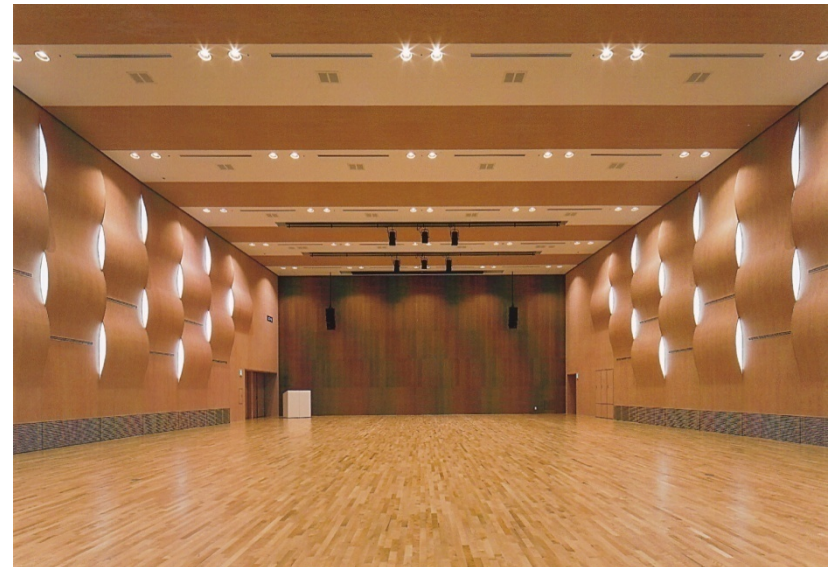
林野庁長官賞



コンベンションぬまづ

(静岡県)

施主 静岡県
設計者 長谷川逸子・建築計画工房(株)
施工者 大和ハウス工業(株)沼津支店



木材利用推進中央協議会会長賞



様似町立様似小学校

(北海道)

施主 様似町
設計者 (株)ドーコン
施工者 池田・南JV



木材利用推進中央協議会会長賞

岩沼市東児童館

(宮城県)

施主 岩沼市
設計者 (有)スタジオ・オクアキ
施工者 (株)八重樫工務店



木材利用推進中央協議会会長賞



かがわ物産館「栗林庵」 (香川県)

施主 香川県
設計者 基本設計 (有)工ノキ建築事務所
実施設計 (有)零建築設計事務所
施工者 (株)香西工務店



木材利用推進中央協議会会長賞



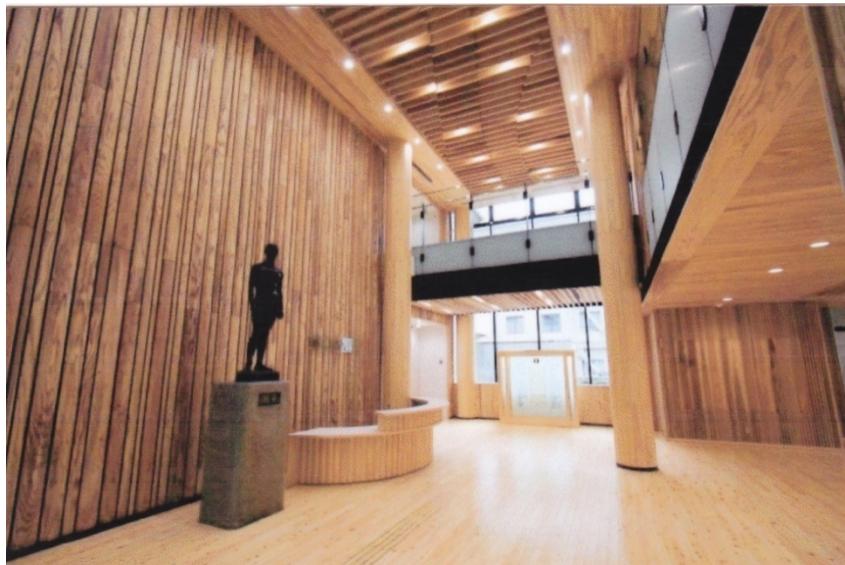
西条市役所市庁舎新館

(愛媛県)

施主 西条市

設計者 (株)安井建築設計事務所

施工者 西松・白石・弓山JV



木材利用推進中央協議会会長賞

あゆみの森幼稚園

(鹿児島県)

施主 学校法人光の子ども自然学園

設計者 (株)象設計集団

施工者 久保田工務店(有)

